

緊急提言

あれあれ?  
これでいいの?

広島  
県議会

# 広志会

自民党広島県議会広志議員会 フォーラム広島

## 議会新会派構成

# 城戸常太

きどつねひろ

生活福祉保健委員会

事務所 / 呉市倉橋町 7379 ☎0823-56-1211 ☎0823-56-2430



### フロントなご広志会

◆既に新聞等でご承知の自民党県議会新会派再編では、広志会からも最大新会派の自民会議に合流した県議がいます。この会派再編は、自民党の一本化のためか、あるいは知事与党としての枠組維持かともみられています。しかし現在の二元代表制では知事与党や知事野党という区分けはおかしいのではないのでしょうか。これは民主系会派と十分な政策調整をしないままの呉越同舟であることは事実です。

◆なぜ最大会派を形成して県知事を応援しなければならぬのか、知事与党という座に居て、県議会議員の仕事として一番大切な県政のチェックがきちんと果たせるのか等、このたびの会派再編には大きな疑問が残りました。

◆私たちが広志会の基本は保守中立であり、県政や議会には是々非々で臨むのが本来的な姿勢です。教育や生活福祉分野での考えの違い、さらに知事が選挙公約として進める投資ファンド「広島版産業革新機構」への手順や責任に対する意見相違がある中、

### 広志会が取り組むもの

◆広志会は財政改革を常に念頭に、私たちの主張として県政ならびに現場に強く反映させているのが「教育環境の向上」「福祉医療の充実」そして喫緊の課題である「雇用の創出」です。

◆現在広島県の人口は緩やかな曲線で減少しています。特に雇用の創出がなければ人口は増えず、すべての悪循環の起点にもなります。確かに観光等の振興による交流人口の増加も大切ですが、いま必要なのは基本的に定住人口の増加を企画することなのです。



城戸会長(中央)と砂原(左)・井原の両議員

### 産業交通網のインフラを

◆いま広島県を活性化させるために取り組むべき優先事項があります。その大きな一つが交通インフラの整備拡充です。

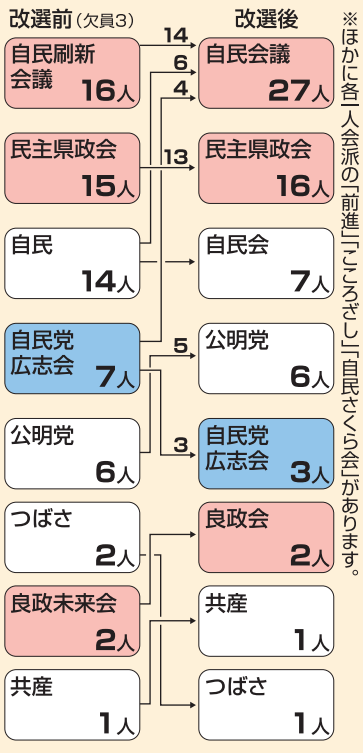
◆広島県の各地域には世界に誇れる技術や製品が数多くあるはずなのにビジネスとして成立していない場合があります。わが国が国際競争に求められるコスト削減は、もはや時間削減と輸送費用の軽減しかないといわれていますが、それには産業道路が必要となります。この交通インフラの整備があつてこそ、隣接地域の利点を活かした連携と補足が経済圏を徐々に充実させていけるのです。

◆一例をあげると、東広島呉道路で広島・呉・東広島を結ぶルートがほぼ出来上がり、その経済波及効果と即応性は大きく飛躍していきましました。

◆故事に「国が豊かになるには、まず民に与えよ、そして得よ」という一節があります。官は、まず商売が出来る環境を創り出し、そうして得た利益から税金をもらいなさいという極めて当たり前のことができています。どうか、今取り組むべき課題としてあるのではないのでしょうか。

### 県議会の主な会派構成

は知事与党の立場をとる会派。  
※改選前の人数は引退や落選の議員も含んでいます。



湯崎知事が進める公的投資ファンド

# 広島版産業革新機構は大丈夫？

## 県主導の公金使用ファンド運営のリスク対応は注意が必要!!

### 経営破綻の実例がある

◆知事の選挙公約「新たな経済成長への挑戦」として誕生した広島版投資ファンドは、基金を設けて地場企業の成長を助け、生み出された雇用で住民の所得アップを図るといった構想で、本年度の当初予算にも計上されています。

投資の元手の基金は約百億円(県が40億円・民間から60億円)で、運営は県等が出資して新設した運営会社に任せリスクを抑えるという計画です。自治体が出資する額は全国トップクラスで、少なからず注目されているようです。

◆しかしどうしてもリスクは伴います。投資先が倒産したら出資した公的資金は回収できません。第三セクターによる広島空港付近の



昨年12月、東京の産業革新機構を訪れ、幹部と意見交換する湯崎英彦知事(左から2番目)=県提供

ゴルフ場開発が経営破綻して40億円余りが戻らなかつた例も記憶に新しいところですよ。

公的資金を投入するからには、リスクや事業の公益性等について、知事や県は説明を尽くす必要があります。

### ファンドは投資であって融資ではない

◆投資先は「伸びる企業」を目安に選ぶとされていますが、「ただ儲かるかどうか」が基準なら民間の投資ファンドとさして変わるまい。多額の公的資金を注ぎ込むからには公益性の目配りも必要ではなからうか。(中国新聞社説より引用)との指摘も当然あります。

ファンドは投資であり、融資ではないので、その創設には多角的に事業を精査していき、議会や県民が納得できるようにするべきだと思います。ファンド事業の概要が絵に描いた餅にならないような事業としたいものです。

### 《投資ファンド》

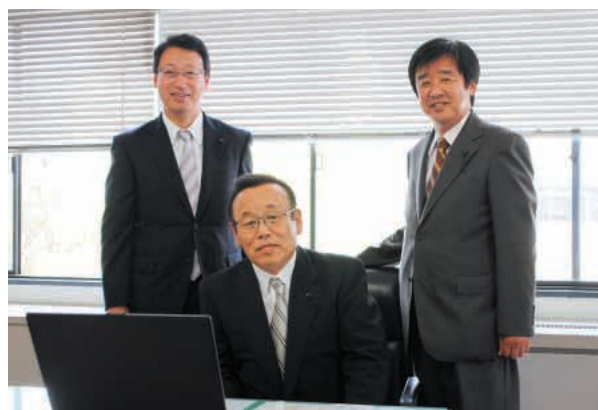
投資家や金融機関から資金を集め、それを基金(ファンド)として企業などに投資し、配当や売却益などを投資家に分配する仕組み。「ベンチャー企業育成ファンド」「企業買収ファンド」など様々なものがある。投資先にとっては、担保が必要な金融機関の融資に比べ、大規模な資金を得られるというメリットがあります。

## 企業育成型ひろしま投資事業有限責任組合による投資

対象者 ●原則として新規事業展開や第二創業に取り組む広島県内の中小・ベンチャー企業や研究開発拠点等として広島県と深い関係を有する企業のうち、今後成長が期待できる株式未公開企業で、将来株式の公開をめざしているもの。また経営革新計画の承認を受けた株式会社も対象となっています。

支援内容 ●承認された経営革新計画に従い経営革新のための事業を行い、株式公開をめざす未公開株式会社は、企業育成型ひろしま投資事業有限責任組合からの投資の対象となっています。

## こうしかい 広志会はあなたのための会派です



### 防災対応能力向上と市町村合併への対応力が課題

◆平成の大合併により行政区域が広域化し、しかも高齢化が急速に進む地域も少なくない中、防災や救急の効率的かつ効果的な運営を図るには消防体制を一県一消防体制に再編成すべきだと考えます。

◆医療については、県の立場での地域医療体制の充実が求められます。2次救急が可能な医療機関を明確にした上で、3次救急体制ができる環境を整えることです。

◆また、各市町の住民ニーズが多様化する中で、県が十分に存在感を示していないことは何よりの課題です。県の役割は、市町や各市町間連携のサポートをすることで、権限委譲といながら事務仕事の委譲をするだけでは駄目です。県やさらには県議会の存在意義を明確にすることを進めていきます。

◆こうした現実的な課題を前に、私たち広志会はしがらみや利益に惑うことなく、県民(あなた)のためになるかどうかを第一義にして進んでいます。県議会内外での広志会の動きは見逃せません。

### 県議会の本来の役割は

◆「県議会って必要？」という声を聞くことがありますが、県議会の役割は皆様の生活に直接関わる事柄を県民の立場になって審査・提案する重要な仕事です。県が置かれている現状と課題、その解決方法等について、県知事や役人が一方的に進めることを防ぎます。

◆しかし最近、県知事の政策に賛成するのは良いとしても、知事与党という派閥を形成する会派が誕生しました。これはあきらかに変です。県議会議員は県民のために判断は常に公正中立でなければならず、県知事等の政策には是非々々で臨むべきだと思います。



意識調査用資料 このレポートへの皆様のご意見をお待ちしています。

〒730-8509 広島市中区基町10-52 広島県議会「広志会」控室  
TEL082-513-4620 FAX082-223-0185

Mail : koshikai@s-pw.co.jp

http://koshikai.com 広志会

検索